

生活信条

希望で登校、感謝で下校

学校教育目標

五中生らしく、自立し誠実に生きる生徒を育成する

目指す学校像

信頼の絆で結ばれる学校 豊かな学びを育む学校 地域と共にある学校

経営の重点

自己決定 と **関わり合い** を通して、生徒の生きる力を育む

発揮させたい力

受け止める力

伝える力

かかわる力

『対話』を核にした 寄り添う支援

自立を促すには、まず生徒理解が必要です。そのため、「対話」を大事にして、生徒の心に寄り添い、信頼関係を築き、生徒が自分の意思で自分の生き方を決定していけるよう支援していきます。

信頼の絆で育む
豊かな心

『魅力ある学び』 のある授業

学校づくりの根幹は、授業づくりです。わかる授業、問いの生まれる授業、魅力ある授業を目指します。また、一人ひとりを大切にしたい個別最適な学びと仲間と協働で課題解決にあたる協働的な学びの一体化を目指し授業づくりに取り組みます。

学びの魅力で育む
確かな学力

生徒が主役の 特別活動

自立を促すには、自ら考え、判断し、行動する経験が必要です。行事、生徒会活動、学級活動等、生徒のアイディアを生かし、生徒同士の関わり合いを重視して、生徒に委ねて行くことで、達成感や自尊心を高めることを目指します。

望ましい集団活動で育む
たくましい心と体

生徒に寄り添い、一緒に笑い一緒に涙、生徒共に夢を語る教職員集団

保護者・地域との連携 コミュニティスクールの充実

生徒の生活は、家庭や地域に守られて成り立っています。家庭や地域との連携を大切にします。

生徒・教職員の心と身体の健康を 大事にします

学校の元気と活気の源である、生徒と先生方の心と身体の健康を大事にします。